

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	雨水排水施設整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課				
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	中西 辰夫				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	浸水解消を望む市民	意図	雨水排水施設を整備し、浸水被害を防止する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>浸水被害が発生している箇所において、排水施設の整備を行うと共に既存の排水施設を改良する。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化拡大による雨水流出量の増大や、近年多発するゲリラ豪雨などで浸水被害が発生していることから、被害状況を把握し、優先順位を定めて整備する。</li> <li>開発調整池や雨水排水管の整備が進み、家屋浸水被害件数は減少傾向にある。</li> </ul>			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	浸水等被害件数	3	0	5	箇所	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	11,069,782	43,981,940	78,509,600
事業費(b)(円)	10,693,282	40,549,440	73,140,000
うち一般財源	10,693,282	40,549,440	73,140,000
職員給与費(c)(円)	376,500	3,432,500	5,369,600
人役・職員(人)	0.05	0.50	0.80
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

・浸水被害は、主に地形によることが多い。  
 ・抜本的解決には排水管を整備する必要があるため、多くの事業費と時間がかかる。  
 ・平成29年度に繰越した駒木台地先と東深井地先での道路冠水対策工事が完了した。  
 ・東深井地先においては、平成30年度も引き続き工事を行う。  
 ・平成29年度より国庫交付金を導入し排水管整備工事に着手した。

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VI 縮小（改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路冠水等の浸水解消に伴う雨水排水施設の設計及び改良工事を行う。</li> </ul>	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>流末となる幹線や水路の整備が必要となるため事業費と期間がかかる。</li> <li>予算が削減傾向にある。</li> </ul>
②今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>駒木台地先での排水管整備工事が完了した。</li> <li>東深井地先の排水管整備工事に昨年度に引き続き着手した。</li> </ul>	④今後(H30以降)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>他部局との調整を行い工事を実施することで経費の節減を図る。</li> <li>公共下水道事業への移行を視野に調整が必要である。</li> </ul>